

都市構造可視化を用いた 都市拠点の活性化検討

～まちの「未来」を可視化するために～



岐阜県中津川市
リニア都市政策部 都市建築課

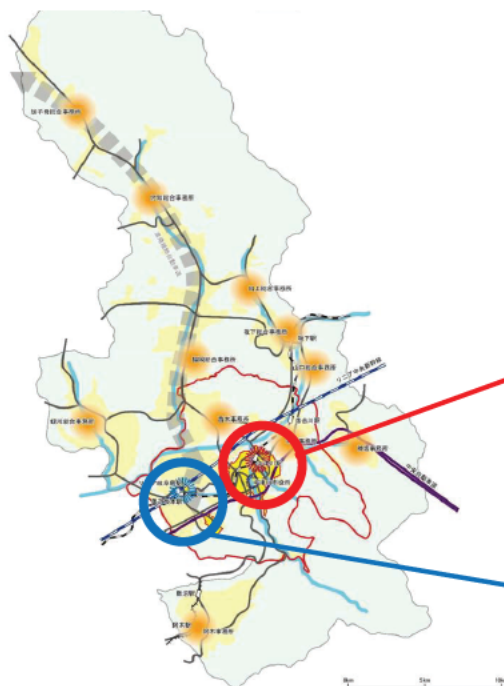
i-都市交流会議2022

1

1.立地適正化計画の策定

R3.3 中津川市立地適正化計画を策定

中津川市将来都市構造図



2つの拠点に
都市機能誘導区域を設定

JR中津川駅周辺の中心市街地
(都市拠点)

リニア岐阜県駅設置予定地周辺
(広域交通拠点)

i-都市交流会議2022

2

2. 市内連携体制の構築

都市拠点（中心市街地）のエリア再生を検討するため、
市内関係部署と連携会議を設立

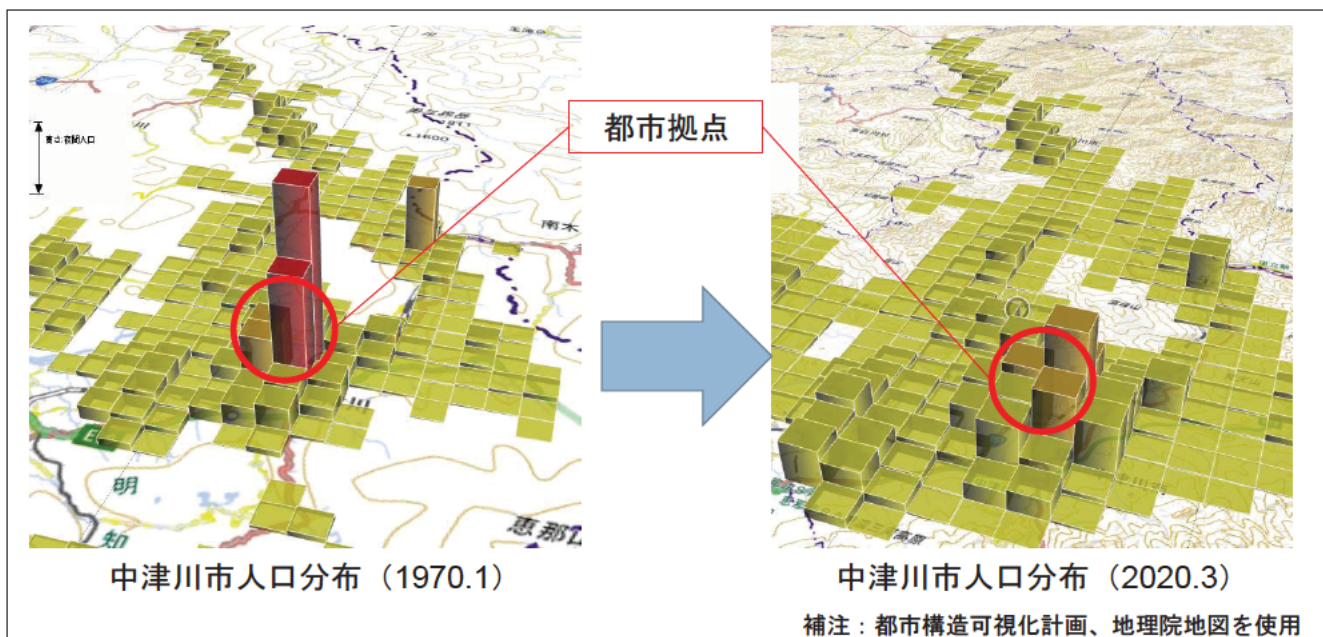


i-都市交流会議2022

3

3. 都市拠点の現状分析

都市構造可視化計画サイトのデータから人口分布等を可視化



エリア人口の減少、拡散の現状を視覚的に捉える

i-都市交流会議2022

4

4.現状分析と課題の設定

都市計画基礎調査データをKML化し、土地利用を可視化



都市拠点の土地利用現況

補注：都市計画基礎調査、地理院地図を使用

各種統計データ等を
可視化し共有しながら
エリア課題を検討

空き家、空き店舗を
エリアの重点課題
として設定

5.可視化によるエリア分析と課題

可視化した統計情報を用いてエリア再生施策を検討

メリット

- ・統計情報を視覚的に共有でき、
エリア分析に活用しやすい
- ・専門知識のない他部署の職員にも
視覚的に説明でき共有しやすい



庁内連携会議での検討の様子

課題

- ・統計情報を可視化するだけでは具体的なアクションや施策に
つながりにくい

具体的なアクションにつなげるには、統計情報に加えてそこに
乗りきらないまちの「実状」や「未来」を可視化する必要がある

6. 今後の活用

まちの「実状」「未来」のデータを拾うため現地調査を実施
調査データをKML化し、調査データの可視化を促進

現地調査のポイント

- ・ 居住者の年齢層
 - ・ 世帯構成
- など



現地調査の様子

現在、未来の空き家、空き店舗の可能性を可視化する



より効果的な
具体策の実現

岐阜県中津川市

都市の紹介



豊かな自然



育まれた歴史、文化



リニアを迎え、新たなまちへ